



2019年8月8日発行 会報第983号

今週のプログラム

(2019年8月8日 第983回例会)

「クラブ奉仕・社会奉仕フォーラム」

担当：クラブ奉仕委員会 山田 克子委員長
社会奉仕委員会 水島 洋委員長

次週のプログラム

(2019年8月22日 第984回例会)

『移動親睦例会』

於：箕面フォレスト・ガーデン

担当：木下 健治会長
渡邊 了允幹事

第982回例会 (2019年8月 1日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。早くも今日から8月です。各地で猛暑日も増えてきています。暑さ本番なので、引き続き熱中症には十分ご注意ください。今日は、季節を表す「二十四節気」についてお話しさせていただきます。二十四節気で言うと今日現在は「大暑」です。これは、今年は7/23から始まって、8/8には「立秋」となります。今では本格的な暑さ到来の時期ですが、もう秋ですか？という感じですね。

「二十四節気」とは、日本では平安時代から使われている暦のことで、もともとは古代中国で農業の目安として作られた暦です。春秋戦国時代 (BC. 770~BC. 221) 黄河流域で作られたと言われます。古代中国では暦として月の運行に基づいた「太陰暦」が使われていましたが、これだと実際の季節とズレが生まれてしまうため、太陽の位置を元に1年を24等分した「二十四節気」や、それをさらに約5日ごとに分割した「七十二候しちじゅうにこう」が作られ、季節の変化をさらにきめ細かくとらえて農事に生かしました。この二十四節気は、2016年に中国の無形文化遺産としてユネスコに登録されました。二十四節気は地球と太陽の位置関係で決まる暦で、基準となったのが「夏至・冬至・春分・秋分」の四つの節気で、この四つを「二至二分にしにぶん」と言います。これらを元に春夏秋冬を決め、春分を春の中心、夏至を夏の中心、秋分を夏の中心、冬至を冬を中心としました。二至二分の次にできたのが立春・立夏・立秋・立冬の4つです。これらは「四立しりゅう」と呼ばれ、それぞれ季節の始まりとなっています。二至二分と四立を合わせて「八節 (はっせつ)」と言います。二十四節気はこの八節をさらに分割したものです。八節だけだと農作業の目安にするには足りなかったため、より細かく分割した二十四節気が生まれました。当時は、農業を行う上で種まきの時期、収穫の時期などを正確に知ることも非常に重要でした。このため、季節を正確に知る必要性が生じ、その結果、二至二分を八節へ、八節を二十四節気へ、さらに二十四節気を七十二候へと細分化されていったそうです。生活の知恵から生まれたものだったのですね。

<お客様> 無し

<出席報告> 水島 洋 出席担当

会員数（内出席免除会員 1 名） 20 名
本日の出席者数（内免除会員 0 名） 12 名
（内名誉会員 0 名）
本日の出席率 63.16%

<ロータリーソング> 全会員

♪君が代♪
♪奉仕の理想♪

<ピアノ演奏> 近藤 美里さん

1. やさしく歌って
2. 我が心のジョージア
3. ムーンライト・セレナーデ

<幹事報告>

渡邊 了允幹事

- 1、地区大会登録申し込みの回覧を始めます。
登録料は会員 1 名¥5,000 で全員登録となっております（ご家族は無料）
登録チラシをご覧の上、申し込み表にご記入をよろしくお願い致します。
- 2、『秋のライラの御案内』が参りましたので、回覧致します。
案内のチラシは全会員のレターケースに配布致しました。
Rtn.のご参加及び参加青少年のご推薦をよろしくお願い致します。
- 3、RI 日本事務局より、8 月のロータリーレートは、\$ = ¥108 と連絡がありました。
- 4、本日例会終了後、「おしどりの間」にて理事会を開催致します。
理事・役員の皆様はご出席下さい。

<委員会報告>

藤田 芳浩親睦委員長

千里ロータリークラブとの合同親睦会のご案内

この度 千里ロータリークラブ 上橋親睦委員長より当クラブとの合同親睦会のお誘いが有りましたのでご案内致します。皆様ご承知の通り以前から千里ロータリークラブとは様々な機会をとらえて交流して参りました。今回は、10 月に食事会と 12 月に年末では恒例の「第九」を楽しむ企画となっております。詳しくは、8 月 8 日(木)の例会に上橋親睦委員長が、メイクアップに来場された際にご説明があると思います。概略を申し上げますと食事会の日程は、10 月 26 日(土)午後 6 時より場所は、中之島のダイビル 2F にあるフレンチ「レストラン ヴァリエ」費用は、1 人 15,000 円です。もう 1 つは、日本初のクラシック音楽専用ホールとして世界の著名アーティストが絶賛する「ザ・シンフォニーホール」（環状線福島駅より徒歩 5 分程度）にて 12 月 22 日(日)に開催される「第九 de クリスマス」です。クリスマスにクラシックという贅沢な時間を過ごして頂けるとと思います。終演後には、別室を用意しての食事と懇談も準備されています。会費は 1 人 10,000 円との事です。以上 合同親睦会のご案内を申し上げます。

<今月お誕生日> 無し

<SAA 報告>

黒川 彰夫 SAA

※スマイルボックス

岸上会員：あついのは あつい！！

黒川会員：暑いのは好きです。

渡邊会員：藤田親睦委員長 卓話よろしくお願いたします。

コメントなし：藤田会員

※ロータリー財団

藤田会員：本当に暑いですねー！！

岸上会員：あつい！！

黒川会員：暑さで心が冷えそうです。

松田会員：財団フォーラム宜しく!!

コメントなし：相原会員、山田会員

※米山記念奨学会

藤田会員：エリカさん夏バテ大丈夫ですか！！

木下(健)会員：すっかり猛暑日ですね・・・

岸上会員：とにかくあつい！！

黒川会員：暑すぎますね！！

松田会員：先週、ファインセッションを失念、ゴメン!!

水本会員：PL花火に行かずにロータリー！！

コメントなし：相原会員、渡邊会員

※ラオス基金

黒川会員：暑い日々が続きそうですね！！

コメントなし：岸上会員

※メイプル基金

藤田会員：本日、第 1000 回記念例会について、宜しくお願いします！！

木下(健)会員：藤田会員 卓話よろしくお願いたします！

岸上会員：あつい、あついと言いつづけたら 涼しくなるかな？

黒川会員：暑いですね！！

松田会員：藤田会員 1000 回記念ご苦労様です。

水本会員：暑いですね～！

水島会員：藤田会員 卓話よろしく。

<ファインセッション> ￥14,680

松田 親男副SAA

<卓 話>

藤田 芳浩親睦委員長

本年度は 1998 年 6 月 13 日の創立以来 第 1000 回例会を迎えることとなります。

各年度の例会数は、平均 46 回程度ですから 1000 回は、22 年を要します。記念すべき第 1000 回例会は、皆様と一緒に記憶に残る素晴らしい例会として開催したいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。つきましては、下記のアンケートを参考に皆様のご意見をお願い致します。

① 第 1000 回記念例会を、外部にも発信する記念例会とするのが良いと思う。

(例)講演会等

*第一部記念講演(ガバナー等) 第二部クリスマス例会が良いと思う。

*会員以外を招くのであれば週末開催が良い。講演会は講師を招いても良い。

*いままでお世話になった方(山本 加奈子様など)と内内で、華やかな会にしたい。

*外部発信は周年記念で良い。1000 回続いたのは家族の支えの賜物と思っておりますので家族への感謝を中心にしたアットホームな催しにすれば良いと思う。

*記念例会として外部に発信し、催しを行う方が良い。

② 第 1000 回記念例会は、クラブを活性化する記念例会が良いと思う。

*1000 回続いたのは家族の支えの賜物と思っておりますので家族への感謝を表現するもので良い。

*クリスマス例会と一緒に開催した方が良い。親クラブの千里ロータリークラブの方々は招待する。

*1000 回記念で肩寄せ合って良かったねという例会にしたい!

③ 現状の予定では、12 月 19 日が第 1000 回例会(Xmas 例会)になります。現在のプログラムに変更が無く、途中で休会等があれば 2020 年 1 月にずれ込みます。何か調整する必要はないでしょうか?

*当日の例会数にこだわらなくて良いと思う。1000 回記念と銘打って開催すれば如何ですか?

*週末(土曜日等)に開催して、ご家族やご友人さらに元会員の方々にも声を掛けてはどうか。

*日程は、第 1000 回記念例会として固定して企画・案内した方が良い。

④ 第 1000 回記念例会にふさわしい企画・催しについてアイデアはどうでしょうか?

*歴史を振り返るビデオを作成し上映、或いは写真等を集めた記念冊子を作製し配布する。

*家族例会をメインとして開催する。オークションの様な企画で楽しく!

*入会してまだ日が浅いので、創立以来の写真や画像を紹介して皆で楽しく会話出来ればと思います。

*いままでに入会した方々の写真などを集めてスライド等で紹介すれば良いと思います。

皆様 貴重なご意見有難うございました。本日の例会でかなり方向が出てきましたが、今日ご欠席の会員の皆様もおられるので、会報作成と共にまとめた文面を 8 月 22 日の移動例会時に再度 お配りしてご報告したいと思います。その際は、さらに建設的なご意見を宜しくお願い致します。

<編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・etc>

本日は、卓話というよりも内容はフォーラムだったと思います。第 1000 回記念例会は、貴重な例会だと理解しておりますので、この機会をとらえて会員の皆様のベクトルを結集した強い力で企画・実施したいと切に願っております。3 週間後の 8 月 22 日移動例会「フォレスト・ガーデン」でもう一度多くの方々と意見交換をしたいと考えております。宜しくお願い致します。(文責:藤田 芳浩)